



ロータリー：  
変化をもたらす

## パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ：奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ（2017-18年度 会長：長谷川 博久 幹事：後藤 達朗）  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC

### 第704回例会 1月23日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会：高木一浩 石原誠
- 点鐘：長谷川博久
- ゲスト：国際ロータリー第2ゾーンコーディネーター田中正規様  
米山記念奨学生 薛安琪さん
- 議事：ロータリー情報特別委員会「ロータリークラブの方向性」

#### ■会長挨拶

皆様、おはようございます。

東京では、大雪で大変な状況ですが浜松は、雪も降らず通常のように行動できますのであ

りがたいと思っています。そしてインフルエンザがすごく流行ってしまっていて体調管理に十分注意していただきたいと思います。事務局の高柳さんもインフルエンザということでかかってしまった場合は、すぐにお医者様に行き早めの対応をお願いします。無理して出てくることは一番良くないことなので休むことを第一に考え他人にうつさないことも重要ですので十分すぎる対応をお願いします。

さて、本日は、2760地区のバスターガバナーでもあります田中様をお呼びしましてロータリーのお話をさせていただきたいと思っております。昨日より来浜され、貴重な話を聞かせていただきました。ロータリーの歴史からロータリーのあり方、日本と海外のロータリーに対する考え方の違い等普段聞けない話を聞けたような気がします。そういう意味で今回の卓話も大変いい話が聞けますので楽しみにしていただきまして会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



#### ■幹事報告

- ①ガバナー月信配布の件
- ②会費引落の件
- ③静岡第7分区インターシティミーティングの件
- ④事務局高柳さんインフルエンザ患の件

#### ■委員会報告

クラブ研修委員会 委員長 金山土洲

3月13日19:00よりオークラ30階パールの間にて『新会員研修会』を開催します。バスター会長は必ず出席をお願いします。

#### ■スマイル

- ・長谷川博久/田中正規様貴重なお話を賜りありがとうございました。
- ・小澤邦比呂/1月16日に浜松市役所にて地域に貢献した企業を称える表彰式があり松川電気がソーシャル活動部門優秀賞をいただきました。
- ・小澤邦比呂/田中正規様ご指導をいただきありがとうございました。貴クラブ西尾RCの雰囲気の良いクラブ運営を見習い活動をして参ります。
- ・ロータリー情報特別委員会  
田中正規様本日はありがとうございました。今後のクラブ運営にいかしていきたいと思っております。
- ・福地三則/浜松中ロータリークラブにて卓話をします。「浜松におけるサービスロボットの開発について」是非聞きに来てください。
- ・坂井光蔵/1月21日に館山寺にて県内コバックの新年会を開催しました。伊藤さんの紹介で舞妓さんをお招きしおかげで盛会となりました。



#### 〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員3名)  
出席数 59名 出席率 77, 63%  
前々回出席率 77, 63%

## ■議事 (担当：ロータリー情報特別委員会)

### 『RI 戦略計画の最新情報』田中 正規様

RI 第2ゾーンロータリーコ  
ーディネーター/第2760  
地区パストガバナー/西尾ロ  
ータリークラブ



#### ロータリーに様々な危機感

「ロータリーがこの世界、時代に沿った存在であり続けるために、私たちは何をすべきだろうか？」

この世界には、ロータリーにとって多くの機会が存在します。①仲間（会員）を増やす機会 ②奉仕する機会 ③戦略を立てて変化する世界に対応する機会

この世界で、ロータリーへの需要は高まっています。ロータリーと世界との結びつきも強まっています。しかし、奉仕活動に忙しい私たちは、時として現状をしっかりと見ることを忘れてしまうこともあります。ロータリーがこの世界、そして時代に沿った存在であり続けるために、私たちは何をすべきでしょうか。

『今ロータリーは、いわば転換期となる歴史的に重要な局面に立っています。』

(地区大会に寄せた RI 会長メッセージ より)

#### 2015年10月の決定

理事会は以下のことに同意

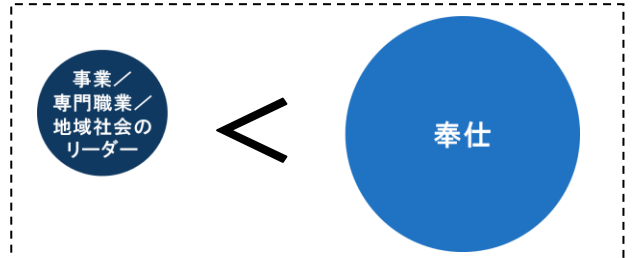


昨年 10 月、理事会と財団管理委員会は、変化し続ける世界にロータリーが追いついていく必要があることを認識しました。ペースの速い現代社会では、ロータリーの競合団体が数多く作り出され、ボランティア人員や寄付といったリソースを得るために競いあっています。このため、ロータリーのリーダーである私たちは、全会員がロータリー会員であることのメリットと価値を実感できるよう、力を注がなければなりません。

#### これからのロータリー

ロータリーは時代に適応しなければなりません。そして、次なる 100 年間に存続していくために、ビジョンを備えなければなりません。

#### 最近までのロータリーの位置づけ：人道的奉仕団体



#### これからのロータリーの位置づけ：奉仕活動を行っている会員から成る団体



これまでは会員の重要性を十分強調していませんでした。しかし、ロータリーがほかと違う特別な団体である理由は、その会員組織にあります。このため、ご覧の図の「および」が重要な要素となります。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。ともに奉仕の理念を信じ、ロータリーの諸活動に積極的に参加する「仲間」を増やすこと。それは会員増強であります。

「聞いたことはあるが、何をやる団体か知らない」  
「年配」「男性」「柔軟性がない」「エリート主義」  
「排他的」「秘密的」と認知度が低い現状。バッジについて聞かれたらそれぞれの言葉で 2 分間で説明できるようにして下さい。ロータリーとは何か、ロータリーとは何をやる団体なのか、なぜロータリーは大切なのか

3つの戦略的目標として①クラブのサポートと強化②人道的奉仕の重点化と増加③公共イメージと認知度の向上があります。貴クラブでもアンケートを実施してみんな希望に満ちたクラブの将来像を描いてみてください。